

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論 I （保健指導）	2 年次 後期	必修	講義	1 単位 （30 時間）	佐藤美恵子 ※
授 業 概 要					
地域で生活する人々（個人、家族、集団）が主体的に健康課題を解決するための支援技術の1つである『保健指導』を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 保健指導の定義、目的について説明する。 2. 保健指導の対象と対象の選定基準について説明する。 3. 個別指導、集団指導の方法と選定について説明する。 4. 保健行動と行動変容に関する理論の概要を述べる。 5. 公衆衛生看護活動における対人支援の過程と技術について説明する。 6. 行動変容に関する理論を活用した対人支援について理解する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	1. 保健指導の基本的な考え方 1) 保健指導とは 2) 保健指導の目的 2. 保健指導の対象 1) 保健指導の対象 2) 保健指導の対象選定と優先順位 3. 保健指導の方法と選定 個別指導 集団指導 4. 行動変容に関する理論 1) 保健行動と行動変容 2) 行動変容で用いる理論 KAP モデル ヘルスビリーフモデル 自己効力感 変化のステージモデル 計画的行動理論 5. 公衆衛生看護活動における対人支援の過程と技術 6. 行動変容に関する理論を用いた対人支援				佐藤美恵子 ※
学 習 方 法					
講義 グループワーク					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 公衆衛生看護学. j p 荒賀直子 インターメディカル 医療保険スタッフのための健康行動理論の基礎 生活習慣病を中心に 松本千秋 著 医歯薬出版株式会社					